

## 2020/21 年度 第 2 回理事会 議事録

日時： 2021 年 6 月 29 日火曜日 19 時 00 分ー

会場： Zoom によるオンライン会議

出席者： 山野博哉，藤田和彦，梅澤有（音声聴取のみ），井龍康文，  
中野義勝，栗原晴子（以上理事），鹿熊信一郎，野中正法（以  
上監事），久保田賢（事務局）

### 議題

#### 報告事項

##### (1) 業務報告

各理事より，資料に基づき 2020/21 年度の前半の業務実施状況について報告された。

##### 1. 学会誌（資料 1）

琉球大学瀬底研究施設 50 周年特集号の掲載予定原稿はほぼすべて受理されている。出版費用がかかるので 2021/22 年度に別途予算を計上する予定としている。和文誌ではサンゴの分類の掲載が始まり，報告数が多くなる予定なので，2 編/年のペースで出版する。著作権規程については，今年度中に確定予定，編集委員の引継ぎも並行して進めている。インパクトファクター（IF）獲得のために 1 月発行（現 12 月発行）にする案が示されたが，そのためには刊行報数が少なすぎることや本格的に検討するならばジャーナルコンサルティングとの連携が必要だという指摘があった。また，英文誌編集のアウトソーシング先が変更になったことが報告された際には，コストがかかっているため投稿料を徴収することを検討するべきとの提案があった。和文誌の冊子体の廃止についても検討中であることが報告された。

##### 2. 広報・社会連携（資料 2）

書面で報告された。

### 3. 学会戦略・国際連携（資料3）

新型コロナウイルス感染防止の観点から2020年の開催が延期となったICRSについて、出展料が高額であることなどから、出展しないことが報告された。また、大会の国際化の観点で検討が進められてきた要旨の英文化については、まずアカデミック関係者から日英併記を推進することが委員会で決議し、ひな型を作成した。国際連携については、台湾との連携がコロナ禍によりなかなか進まない状況となっている。ICRSのリージョナルチャプターについては、学会内のICRS会員比率を30%にする必要があり、その方策として動物学会で国際対応しているセクションがあるので、情報収集を継続することとなった。また、本会では代議員を社員とすることになっているので、社員の30%という解釈が可能かどうかについても確認することとなった。

### 4. サンゴ礁保全・調査安全（資料4）

第23回大会でサンゴ礁保全学術委員会の自由集会を開催するとともに奨励賞を授与した。また、環境省サンゴ礁生態系保全行動計画のためのワーキンググループを保全委員会内に委員会を作成し、政策提言に向けた検討を始めた。調査安全委員会では、リモート会議を開催し引き続き情報収集を続けていくこととなった。

### 5. 庶務・会計（資料5）

名称変更後、初めてとなる保全・教育普及奨励賞の募集が7月1日より開始される予定である。会長および代議員選挙に関しては役員・代議員選任規則を改正し、電子投票を初導入した。

## (2) その他

各理事は所掌委員会の次期委員長・委員候補について検討し、理事会 ML で情報共有することが確認された。

## 審議事項

### (1) 2021/22 年度以降の学生会員、外国会員の会費について

2020/21 年度の会費が無料となっている学生は、2021/22 年度は 1,000 円に、2020/21 年度までの 3 ヶ年度の会費が無料となっていた外国会員については、2,000 円に戻すこととなった。

### (2) 日本サンゴ礁学会第 24 回大会の開催について (資料 6)

第 24 回大会実行委員会から提案された大会実施案について、準備状況が報告された。提案の Zoom ライセンスについて、すでに学会でプロライセンスを 1 つ契約しているため、それを変更することなどの指摘はあったものの、概ね了承された。

また、参加費について議論され、以下のとおりとなった。

=====

一般会員\*：事前 2,000 円 事後 3,000 円

一般非会員：事前 4,000 円 事後 5,000 円

学生会員 (大学生以上)：500 円 事後 1,000 円

学生非会員 (大学生以上)：2,000 円 事後 2,500 円

小中高生、賛助会員、名誉会員：無料

=====

\*一般：一般会員、外国会委員、会友会員を含む

\*賛助会員：発表する場合は一般会員である必要がある (参加費一般会員価格)

その他の意見として、オンライン開催の場合、各種委員会を大会期間中に必ずしも開催する必要がないことから、可能なら事前に開催しておいてほしいという要望があった (学会 Zoom ライセンスが利用可)。また、シンポジウムの講演者へ、学会誌の特集号に寄稿してもらうよう依頼することも要請された。

また、Web サイトについては、大会実行委員会 Web サイトと学会 Web に掲載する内容を整理する必要があるため、大会実行委員と事務局で引きつづき調整することとなった。

(3) Zoom アカウントの共有について

2021 年 6 月に事務局で契約した Zoom のプロライセンスについて、理事会や大会だけでなく、各種委員会でも活用することとなった。アクセスするためのアドレスやパスワードについては、各理事を通じて所掌委員会の委員長へ必要に応じて伝えることとなった。

(4) 代議員選挙について

選挙管理委員会から要検討事項の提案があったが、検討するための時間が十分確保できなかったため、9 月開催予定の第 3 回理事会で議論することとなった。

(5) その他